

公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター

平成 25 年度 事業報告書

[公 1]

住民主体のまちづくりの実現と、歴史都市・京都の美しい景観、良好な環境を具現化し、京都の都市としての品格を高めるとともに都市活力の向上に寄与することを目的とする。

1 各種情報の収集、発信及び啓発

(1) 広報活動事業

ア ニュースレター「京まち工房」の発行

景観・まちづくりに関する各種情報及び地域、関係団体等の活動状況等を掲載した広報紙を作成し、賛助会員や関係団体、行政等へ広く配布した。

配 布 先：賛助会員、各区役所・支所等

発 行：年 4 回（6 月、9 月、12 月、3 月）

発行部数：各号 3,500 部

イ ラジオの活用による情報発信活動

市民等による先進的なまちづくりの取組紹介や当センターの活動をまちづくりに関心のある市民等に広く発信することを目的として、特定非営利活動法人京都コミュニティ放送（京都三条ラジオカフェ）の番組「まちづくりチョビット推進室」において情報を発信した。

* 番組名：『まちづくりチョビット推進室』

年間 4 回の収録、1 回収録分につき月 4 回放送

第 3 及び第 4 土曜日 15:30～16:00、第 3 及び第 4 日曜日 10:30～11:00

番組の内容は、『まちづくりチョビット推進室』のホームページでも配信

実施月	タイトル及び概要	ゲスト
平成 25 年 6 月	「HAPS さんてご存知ですか？（略）」 芸術家が京都に住むための総合サポート窓口として活動している HAPS の紹介 ほか	HAPS(東山アーティスト・プレイスメント・サービス実行委員)ディレクター 芦立さやか氏 ラジオ愛好家(アーティスト) 毛原大樹氏
平成 25 年 8 月	「災害は我が事。まずは死なない、怪我しない。」 京都の地域防災とその現状、大規模防災訓練 ほか	防災寺子屋・京都代表、朱八地域自主防災会専門協力員 太田興氏 中京区役所地域力推進室 足立勇一氏
平成 25 年 9 月	「修徳まちなみ文化財ってご存知ですか？」 修徳学区における修徳まちなみ文化財選定の取組について ほか	京都府建築士会まちづくり委員会 篁正康氏 修徳まちなみ文化財選定会議 田中直輔氏
平成 25 年 11 月	「京都の弱点を逆手に取る（略）」 町家等の地域資源を活かした設計活動に ほか	魚谷繁礼建築研究所 魚谷繁礼氏
平成 25 年 12 月	「姉小路界限がすごい！みなさん…すごいよ。」 姉小路界限を考える会の発祥から、地域と企業の共生、姉小路の古い町並み保全の取組 ほか	姉小路界限を考える会事務局長 谷口親平氏
平成 26 年 2 月	「京都銭湯部ってご存じですか？～日暮手傳舎ってご存じですか？」 銭湯を通じた地域交流の活動、さらに町家等の維持管理における町医者を目指す日暮手傳舎の活動 ほか	京都銭湯部部長、京都建築専門学校非常勤講師、日暮手傳舎代表 吉田玲奈氏

ウ 各種啓発冊子、技術資料等の発行等

(7) 冊子等の販売

- ① 京のまちづくり史 (株式会社昭和堂)
- ② まちづくりコーディネーター (株式会社学芸出版社)
- ③ わたしの家物語 (京都市景観・まちづくりセンター)
- ④ なるほど! 「京町家の改修」 (京都市景観・まちづくりセンター)
- ⑤ 京町家の再生 (京都市景観・まちづくりセンター)
- ⑥ Kyoto Machiya Restaurant Guide (Judith Clancy)
- ⑦ 大学的京都ガイド (株式会社昭和堂)

(4) 京町家キット等の販売

京町家等の組み立て式キット 他

(2) 景観・まちづくり大学等

ア セミナー・研究会の実施 <景観・まちづくり大学>

(7) 京のまちづくり史セミナー

市民を対象に、京都のまちづくりの歴史を学びこれからのまちづくりを考えるため実施した。

開催日	講座名	講師	定員	出席者
H25. 6. 11	「風俗画成立と洛中洛外図」	並木誠士氏 (京都工芸繊維大学教授、同美術工芸資料館長)	20	20
H25. 7. 10	「「祇園祭」と祭りを支える鉦町」	谷直樹氏 (大阪市立大学名誉教授・大阪くらしの今昔館館長)	50	47
H25. 8. 7	「京都の北と南、東と西：地図に潜む二つの関係」	高橋康夫氏 (花園大学教授)	50	40
H25. 8. 21	「道は分けるもの？つなぐもの？」	高橋康夫氏 (花園大学教授)	50	37
H25. 10. 9	「調停する都市」	中川理氏 (京都工芸繊維大学教授)	50	33
H25. 11. 29 H25. 11. 30	「京都の朝と夜：生活の場としての先斗町」	小出祐子氏 (京都美術工芸大学講師) 神戸啓氏 (先斗町まちづくり協議会副会長兼事務局長)	15	15
H26. 1. 22	「街並みの和と洋：現代京都の二度の転機」	石田潤一郎氏 (京都工芸繊維大学大学院教授)	50	23
H26. 2. 26	「京都にみる近代建築の保存と活用」	笠原一人氏 (京都工芸繊維大学大学院助教)	50	32
H26. 3. 23	「京都小学校校舎の発展過程と学区」	大場修氏 (京都府立大学大学院教授)	40	34

(イ) まちづくり情報発信セミナー（まちづくり実践塾）

まちづくりに関心の高い市民、専門家を対象に、まちづくりに関する種々の情報を発信し、広くまちづくりへの参画意識の向上のため実施した。

開催日	講座名	講師	定員	出席者
H25. 7. 26	「移り変わる町の景観制度」	小浦久子氏（大阪大学大学院准教授）	30	31
H25. 9. 20	「海外の街の再生から京都をみる」	阿部大輔氏（龍谷大学政策学部准教授）	30	31
H25. 10. 25	「海外の歴史的環境保全から京都をみる」	江口久美氏（京都大学大学院人間・環境学研究科、日本学術振興会特別研究員）	30	33
H25. 11. 17	「緑から考える京都の景観」	高田研一氏（高田森林緑地研究所）	15	18
H25. 12. 5	「京都の夜景を考える」	村上幸三郎氏（村上デザイン事務所代表）	30	28
H26. 1. 17	「小さな広場から始まるまちづくり」	武田史朗氏（立命館大学准教授）	30	25
H26. 2. 19	「都市インフラ企業とまちづくり」	水野成容氏（大阪ガス株式会社近畿圏部企画・開発チーム部長）	30	19
H26. 3. 6	「拠点からはじまるまちづくり：つくるビルプロジェクト（シンポジウムスピンオフ企画）」	石川秀和氏（株式会社HLC）、阿部大輔氏（龍谷大学政策学部准教授）	20	3

(ウ) 京町家再生セミナー

主に京町家の所有者、居住者を対象に、京町家の維持、管理等に関する基本的な課題解決のため実施した。

開催日	講座名【外部会場の場合に記載】	講師	定員	出席者
H25. 6. 25	京町家を地震から守るために	林康裕氏（京都大学大学院教授） 協力：京都市すまい耐震支援窓口	50	35
H25. 7. 15	大工さんに聞く、町家の基本【よしやまの町家】	狩野文博氏、田原利晃氏、堀榮二氏（京都府建築工業協同組合）	20	20
H25. 7. 27	京町家の夏を科学する～夏を乗り切る知恵と工夫～【京都リサーチパーク町家スタジオ】	松原斎樹氏（京都府立大学教授）	30	35
H25. 10. 26	京町家とは何？～町家の再生事例に触れて！【龍谷大学深草町家キャンパス】	松井薫氏（京町家情報センター代表） 共催：龍谷大学深草町家キャンパス（NPO 法人深草・龍谷コミュニティ）	25	24
H25. 10. 31	京町家まちづくりを解く	宗田好史氏（京都府立大学教授）	50	33
H25. 11. 21	京町家を、京都の景観を、次の世代に引き継ぐための基礎知識①	石田光曠氏（司法書士、京都まちづくり承継研究会） 磯林恵介氏（税理士、京都まちづくり承継研究会）	50	28
H25. 11. 30	町家の日々の手入れと暮らし方【龍谷大学深草町家キャンパス】	松井薫氏（京町家情報センター代表） 共催：龍谷大学深草町家キャンパス（NPO 法人深草・龍谷コミュニティ）	25	20
H25. 12. 8	京都の歴史的まちなみを地震・火災から護り抜くために【西陣ヒコバエの家】	北後明彦氏（神戸大学都市安全研究センター教授） 田村佳英氏、武田真理子氏（関西木造住文化研究会 防火・耐震研究チーム）	30	17
H25. 12. 11	京町家の維持管理・修繕のポイント	狩野文博氏、田原利晃氏、堀榮二氏（京都府建築工業協同組合）	50	20
H26. 1. 11	冬の寒さを楽しむー火鉢編ー	久保常次氏（北区雲ヶ畑在住・林業家）	20	20
H26. 1. 23	町家を、京都の景観を、次の世代に引き継ぐための基礎講座②	石田光曠氏（司法書士、京都まちづくり承継研究会） 磯林恵介氏（税理士、京都まちづくり承継研究会）	50	19
H26. 2. 22	京町家の賃借・売買の質問にお答えします。京町家の活用事例もご紹介いたします。	原田直紀氏（（公財）京都府宅地建物取引業協会） 西村孝平氏（（公財）京都府宅地建物取引業協会）	50	41
H26. 3. 7	町家の改修計画から工事までの手順	力石教夫氏（NPO 法人古材文化の会、力石一級建築設計事務所代表）	50	52
H26. 3. 15	あなたの町家の活かし方～活用事例の見学と経験談～	小野晴久氏（京町家の宿吠陀）、岡元麻有氏（be京都館長）、朝倉眞一氏（まちひろば計画工房）	20	17

(イ) こどもまちづくりセミナー

子どもたちが、自らの地域を知り、魅力と誇りを感じ、各世代との交流を通して景観・まちづくりへの意識の醸成を図るため実施した。

開催日	講座名	講師等	延べ参加者	
H25. 11. 8- H25. 11. 14	「すまい・まちづくり学習フェスタ」		275	
	京都会場イベント概要	講師等	定員	出席者
H25. 11. 9	オリエンテーション	高田光雄氏（京都大学大学院教授）	—	27
H25. 11. 9	すまい・まちづくり教室① 「建築家と一緒にすまいとまちのジオラマを作ろう！」（対象：小学校3～6年生）	日本建築家協会近畿支部京都地域会	12組	28
H25. 11. 9	すまい・まちづくり教室② 「地震に備えた住まい方を学ぼう！」（対象：小学校3年生くらい～大人まで）	兵庫県建築士会住教育支援チーム	50	28
H25. 11. 9	すまい・まちづくり教室③ 「発見！まちなか探検隊」（対象：小学校全学年・要保護者同伴）	京都府建築士会まちづくり委員会	15組	25
H25. 11. 9	ものづくりワークショップ（大阪）	土谷尚子氏（インテリアコーディネーター協会関西）	24組	15
H25. 11. 9	ものづくりワークショップ（神戸）	兵庫県建築士会住教育支援チーム	—	19
H25. 11. 9	「京のまちかど」解説	笠岡英次氏、河田久章氏、中居幸枝氏（まちかどボランティア）	—	42
H25. 11. 9	フリーディスカッション 「すまい・まちづくりトーク」	吉村泉氏（京都市総合教育センター指導主事） 八木景子氏（兵庫県建築士会住教育支援チーム） 土谷尚子氏（インテリアコーディネーター協会関西）	—	36
H25. 11. 9	図書コーナー	すまい・まちづくり学習関連書籍コーナー	—	10
H25. 11. 8- H25. 11. 14	展示コーナー	三都市のすまい・まちづくり学習の事例展示	—	45

「すまい・まちづくり学習フェスタ」は、子どもたちが、景観やまちづくり、すまいについて学ぶ場を提供し、景観・まちづくりへの意識の醸成を図るとともに、市民をはじめ教育従事者や専門家団体と連携を深めることを目的に開催した。フェスタでは、親子参加型のセミナーを中心に、京都、神戸、大阪の巡回展として、三都市各都市のすまい・まちづくり学習の事例を紹介した。

【京都会場】11/8（金）～11/14（木）（場所：ひと・まち交流館 京都地下1階～2階）

【主催】（公財）京都市景観・まちづくりセンター、京（みやこ）安心すまいセンター、神戸市すまいの安心支援センター、大阪市立すまい情報センター

(オ) まちづくり専門家セミナー

まちづくりに関わる専門家（行政、学識者、建築、土木等のまちづくり専門家）としての知見を広めるとともに、相互のスキルアップを図るために実施した。

開催日	講座名	講師	定員	出席者
H25. 6. 6	「学区」の成り立ちと現代的意義	和崎光太郎氏（京都市学校歴史博物館 学芸員）	30	28
H25. 7. 31	「鴨川の納涼風景」の形成	林倫子氏 （立命館大学理工学部都市システム工学科助教）	30	21
H25. 9. 18	「地域まちづくりにおける「地蔵盆」への期待」	村上忠喜氏（京都市文化財保護課） 前田昌弘氏（京都大学高田研究室助教）	30	16
H25. 10. 28	「戦時下の建物疎開の実態と地域社会に与えている影響」	川口朋子氏（京都府総合資料館研究員・京都外国語大学非常勤講師）	30	10
H25. 11. 18	「京都におけるマンションと共生を目指した地域の取り組み①」	田中志敬氏（福井大学地域共生プロジェクトセンター助教）	30	8

H25. 12. 4	「京都におけるマンションと共生を目指した地域の取り組み②」	太田垣義夫氏（前有隣まちづくり委員会会長） 田中志敬氏（福井大学地域共生プロジェクトセンター助教）	30	15
H26. 1. 20	「京都におけるマンションと共生を目指した地域の取り組み③」	井上成哉氏（明倫まちづくり委員会） 田中志敬氏（福井大学地域共生プロジェクトセンター助教）	20	2
H26. 1. 24	「地域まちづくりの現場を知る①」	林正則氏（紫野学区社会福祉協議会）	10	1
H26. 2. 5	「地域まちづくりの現場を知る②」	大西賢市氏（梅津自治連合会）	20	2

(カ) 研究会等の開催

近代まちづくり史の編纂

学識者や若手研究者等による研究や調査により、主として20世紀以降の市街地形成の変遷と郊外住宅の変遷を取りまとめ、近代まちづくり史を編纂する。平成25年度は、近代まちづくり史研究会(仮称)の立ち上げに向けて、平成25年10月16日に研究会準備会を開催し、今後の進め方について意見交換を行った。

研究会準備会メンバー（50音順）

名前	所属等
大場 修（主査）	京都府立大学 教授
高田 光雄	京都大学 教授
中川 理	京都工芸繊維大学 教授
福島 幸宏	京都府立総合資料館
矢野 桂司	立命館大学 教授
リム ボン	立命館大学 教授
三村 浩史	京都市景観・まちづくりセンター理事長

イ 景観・まちづくりシンポジウム

継続的な地域まちづくり、景観形成を通じたまちづくり、新しくにぎわいを創出するまちづくりなどの先進事例を紹介し、これからの地域まちづくりの担い手について考えることを目的に実施した。

- ・タイトル：「これからの地域まちづくりの担い手」
- ・日時：平成26年2月23日（日）13時30分～16時30分
- ・場所：ひと・まち交流館 京都 大会議室及びワークショップルーム
- ・出席者：165名
- ・内容：＜全体会＞

コーディネーター：吉田友彦氏（立命館大学政策科学部教授）
事例紹介：井上成哉氏（明倫まちづくり委員会前委員長）
林正則氏（紫野学区社会福祉協議会会長）
大西賢市氏（梅津自治会連合会会長）

＜分科会＞

【分科会1】「コミュニティ形成に貢献する景観まちづくりの可能性」

コーディネーター：谷亮治氏（同志社大学社会学部嘱託講師）
事例紹介：神戸啓氏（先斗町まちづくり協議会副会長兼事務局長）
西田教子氏（修徳まちづくり委員会常任委員）

【分科会2】「創造的な活動空間によるにぎわい創造」

コーディネーター：阿部大輔氏（龍谷大学政策学部准教授）
事例紹介：田中裕也氏（KRP町家スタジオ、Tunagum.）
石川秀和氏（株式会社HLC）
吉田瑞希氏（京都造形芸術大学・まか通）

2 市民等の活動に対する総合的支援

(1) 地域活動支援事業

ア 景観・まちづくり相談

センター職員による、地域が自主的に取り組む景観・まちづくり活動に関する相談を実施した。

- 相談件数 365 件（平成 24 年度実績 306 件）

相談項目	件数
地域まちづくり活動、地域の現状等について	280
マンション問題	0
センター事業概要（まちづくり活動支援事業等）について	10
景観・まちづくりに関するルールについて（式目、地区計画、景観協定、建築協定等）	83
法律、条例関係（都市計画法、景観法、建築基準法等）	25
学生対応	5
まちづくりコーディネート事業	288
その他	143
合計	834

- センター職員が常時相談に応じた地区 22 地区

（北区）柵野学区（上京区）西陣中央小学校区、桃菌学区、待賢学区（中京区）姉小路界限、立誠学区（先斗町）、明倫学区、龍池学区（左京区）大原小出石町、大原戸寺町、松ヶ崎学区（東山区）六原学区、古門前通元町（下京区）修徳学区、有隣学区、菊浜学区、成徳学区（新釜座町）、永松学区（右京区）嵐山地区（西京区）桂坂地区、西竹の里タウンハウス（伏見区）深草地域

- 専門家による相談対応を行った地区

〔北区柵野学区、中京区龍池学区、東山区六原学区、松原通界限、東山区栗田学区〕

イ まちづくり活動助成

地区計画や建築協定などの法制度等を活用し、景観・まちづくりに継続的に取り組む地域に対して、活動費を助成した。

〔助成地区及び助成対象事業〕

- 中京区姉小路界限地区：まちづくりビジョンの啓発を目的とした報告会の開催及び冊子の作成、道路空間を利用した参加型イベントの開催（参考：平成 21 年度～平成 22 年度に色見本帳の作成に対し活動助成を交付）
- 中京区立誠学区（先斗町）：先斗町主催のシンポジウム（平成 26 年 5 月 29 日開催）、広報チラシの作成

ウ まちづくり専門家派遣

景観・まちづくり活動に取り組む地域に、相談内容に応じて、登録専門家を派遣した。
(登録専門家数：15名(平成26年3月末現在))

[専門家派遣地区]

- ・北区柵野学区：柵野学区まちづくりビジョン推進委員会の運営支援【平成24年～】
「まちづくりビジョン」(平成24年度策定)に掲げた6テーマごとにチームを設置し、取り組むにあたり活動初動期の支援を行った。
- ・中京区龍池学区：龍池まちづくり委員会の運営支援【平成24年～】
「龍池茶話会」(平成24年度開催)で議論された、まちづくりのあり方(活動の担い手、地域課題の共有、将来ビジョン)踏まえ、今後の取り組みを検討するにあたり支援を行った。
- ・右京区嵐山地区：嵐山景観まちづくりサロンの運営支援【平成24年～】
「地域景観づくり協議会」の設立に向けて、地域の諸課題や景観・まちづくりについて意見交換する場「サロン」の運営支援を行った。

(2) 京町家再生支援事業

ア 京町家なんでも相談業務

京町家の保全、再生、活用を図るため、各種の専門家、団体等の協力の下、「京町家なんでも相談」を実施した。

(ア) 一般相談 395件(平成24年度実績 453件)

センター職員が一次対応として、相談内容に応じて専門相談や団体の紹介を行った。

(イ) 専門相談 18件(平成24年度実績 34件)

大工、建築士、不動産事業者等の実務者による専門相談を行った。

相談項目	一般相談	専門相談	合計件数
改修に関するもの	84	11	95
活用に関するもの	58	11	69
賃借・購入希望に関するもの	30	1	31
耐震・防火に関するもの	16	2	18
賃貸・売買契約に関するもの	9	0	9
相隣問題	12	5	17
相続に関するもの	10	1	11
資金、公的な支援制度	32	3	35
その他(マスコミ、視察、協力依頼、情報提供など)	37	1	38
京町家まちづくりファンド	82	1	83
京町家カルテ	134	0	134
海外連携情報発信事業	4	0	4
合計件数	508	36	544

(ウ) 京町家の所有者・居住者等交流会の運営

京町家の所有者、居住者等が相互に情報交換し、連携することによって、その維持、管理等に対する共通課題の解決等を見出すことなどを目的とする交流会を開催した。

開催日	講座名【会場】	講師	出席者
H25. 6. 22	住まいの隠れた魅力・価値を読み解こう ～町家に刻まれた暮らしの歴史・文化を 見つけるポイント～【長江家住宅】	小針剛氏 (町家倶楽部ネットワーク事務局長)	13
H25. 9. 21	京町家の宿、住まいを宿泊施設として活かす ～京町家の活用事例の見学・体験談～ 【小野邸】	小野晴久氏 (京町家の宿 吠陀)	16
H25. 11. 9	木材、銘木から読み解く町家の魅力 ～町家の魅力の残し方、守り方、活かし方～ 【林邸】	中川典子氏 (榊千本銘木商会 常務取締役)	14
H26. 3. 15	「あなたの町家の活かし方～活用事例の見学 と経験談～」 ※京町家再生セミナー共同企画として開催	小野晴久氏 (京町家の宿吠陀)、岡元麻 有氏 (be 京都館長)、朝倉眞一氏 (ま ちひろば計画工房)	17

イ 京町家データベース管理

これまで、京町家の相談履歴については年度毎、相談毎に集積してきたが、今後は継続的に支援及び提案を行っていくため、京町家まちづくり調査のID管理を、GIS上にて、相談案件毎に一元管理する仕組みでの運用を開始した。

ウ 京町家専門講座の実施

専門相談員の情報交流とスキルアップを図るための京町家専門講座を実施した。

開催日	講座名	講師	出席者
H25. 7. 30	「京町家に学ぶ ー暮らしの文化と空間 づくりー」	京都大学 高田光雄氏	64
H25. 8. 29	「京町家調査再考、町家とそこに住む人々 をどう理解し、支援するか」	京都府立大学 宗田好史氏	36
H25. 9. 26	「京町家が結ぶ人と町 流通窓口からの 視点」	京町家情報センター 松井薫氏	20
H25. 10. 27	「景観重要建造物指定制度について ～京町家見学会～」	景観政策課、京町家所有者、 建築士 末川協氏、内田康博氏	30
H25. 12. 1	「京町家の改修現場から学ぶ ～築101年の京町家と路地奥長屋の改修事例 から～」	建築士 木下龍一氏 大工 木村忠紀氏、木村紀晃氏 大下尚平氏	39

3 各種団体等との交流及び協働活動

(1) 専門家等交流事業

ア まちづくり専門家交流会（再掲）

各分野の専門家との共同による交流会を開催し、相互のスキルアップを図ることを目的に、景観・まちづくり大学で「まちづくり専門家セミナー」として実施した。

- ・ 開催回数 6 回、参加者 103 名

イ 京町家等の保全、再生を支援するネットワークの構築

京町家をはじめとする良質な住宅ストックの継承を図ることを目的として（仮称）京町家等利活用促進協議会準備会（平成 25 年 11 月 14 日）、同企画運営ワーキング（平成 26 年 1 月 30 日、平成 26 年 2 月 25 日）を開催した。

<準備会出席団体>

（経済団体）京都商工会議所、京都経済同友会（不動産業）京都府宅地建物取引業協会、全日本不動産協会京都府本部、日本賃貸住宅管理協会京都支部、京都府不動産コンサルティング協会（建設業）京都府建築工業協同組合、京都府建設業協会京都支部（関連職能団体）京都府建築士会、京都府建築士事務所協会、日本建築家協会近畿支部京都地域会、京都建築設計監理協会、京都弁護士会、京都司法書士会、近畿税理士会京都府支部、京都府不動産鑑定士協会、京都土地家屋調査士会（市民活動団体）京町家再生研究会、古材文化の会、京町家居住支援者会議、都市居住推進研究会（金融機関）京都銀行、京都信用金庫、京都中央信用金庫（行政等）京都市、大学コンソーシアム、京都市観光協会、京安心すまいセンター

ウ 各種団体との交流、連携

（一社）日本建築学会、（公社）日本都市計画学会、（一社）都市住宅学会、（一社）日本マンション学会の会員として入会し、情報の交換や共有を行った。

(2) 海外連携プロジェクト事業

ア 京町家アーティスト・イン・レジデンス事業

協賛団体の日本文化センター・アムステルダムからの申し出により、予算額が変更されたため、平成 25 年度中のアーティストの受入れを見送った。平成 26 年 5～7 月の受入れに向けて、受入先の京町家や参加アーティストの募集及び選考を行う企画運営会議（平成 25 年 10 月 11 日、平成 25 年 11 月 1 日、平成 26 年 2 月 28 日、平成 26 年 3 月 7 日）を開催した。

<企画運営会議出席団体>

日本文化センター・アムステルダム、特定非営利活動法人 ANEWAL Gallery 等

イ ワールド・モニュメント財団（米国）との連携による支援

ワールド・モニュメント財団との連携の継続による、京町家の再生、活用に向けた国際的事業を展開するため、第 3 期京町家再生プロジェクトについて検討を行った。

- ・ ワールド・モニュメント財団と協働した京町家再生プロジェクトの成果などが認められ、「Travel+Leisure（トラベル・アンド・レジャー）」誌より「2013 トラベル・アンド・レジャー・グローバル・ビジョン・アワード（2013 Travel+Leisure Global Vision Award）」を、京都市景観・まちづくりセンターが受賞した。

4 歴史的建造物の保全、再生、活用に関する各種の支援及び普及、啓発

(1) 歴史的建造物の再生、活用助成関連事業

京町家まちづくりファンド

ア 京町家まちづくりファンド委員会運営事務

京町家まちづくりファンドの公正かつ効果的な管理運営を行うため、諮問機関としての京町家まちづくりファンド委員会を開催した。

- ・平成 25 年 7 月 26 日 第 29 回京町家まちづくりファンド委員会
- ・平成 26 年 3 月 10 日 第 30 回京町家まちづくりファンド委員会

イ 京町家まちづくりファンドの普及啓発事業

京町家まちづくりファンドの普及啓発活動として次の事業を実施した。

- ① 改修助成事業の成果報告書作成
 - ・京町家まちづくりファンド記録集として 300 部作成し、高額寄附者や改修物件、関係団体等に配布した。
- ② 事業報告会開催
 - ・京町家まちづくりファンドの 8 年間の取り組み実績を踏まえて更なる活動の充実に図るため、報告会を開催した。

開催日	内容	出席者
H25. 7. 25	高額寄附者向けの事業報告会 改修助成物件 2 件の見学とファンド委員、関係者との懇親会	寄附者 13 名 ファンド委員 4 名 京都市 2 名
H25. 9. 19	特別講演・事業報告会 「未来へつなごう京町家 ー京町家まちづくりファンド 8 年間の記録ー」 特別講演「京町家の今日とこれから」講師：吉田孝次郎氏 事業報告会 ファンドの活動報告、助成物件所有者の声：丸山啓介氏 感謝状贈呈式 高額寄附者 個人 7 名、法人 6 社	感謝状贈呈者 13 名 ファンド委員 5 名 その他 133 名

- ③ 普及、啓発活動
 - ・寄附拡大を促進するために、啓発リーフレットを 4,000 部作成し、配布した。
 - ・京町家の保全、再生の取組みや京町家まちづくりファンドへの支援の輪を広げるため、京あるき in 東京 2014 においてセミナーを開催した。また、メインイベント等においてパネル展示やリーフレットの配布を行った。

開催日	講座名	講師	出席者
H26. 2. 8	「京町家に息づく心豊かな暮らし」 会場：東海東京証券株式会社 東京本部 6 階ホール (東京都中央区)	秦めぐみ氏 (秦家住宅)	44 名

- ④ 寄附付き商品
 - ・寄附付き商品の拡充に向けて、商工会議所と協議を行った。
- ⑤ 基金名称及びロゴマークの保全のための商標登録
 - ・基金名称及びロゴマークを商標登録した (登録日：平成 25 年 6 月 28 日)。

(2) 歴史的建造物の保全、再生に関する支援事業

ア 京町家カルテ事業

(7) 京町家カルテ作成・発行

京町家が文化的な資産であることの理解を広め、京町家の適切な維持・管理を促すことを目的に、専門家に依頼し、京町家カルテを作成、発行した。

- ・京町家カルテ発行件数 34 件（不適合 3 件）（平成 24 年度実績 55 件）

(イ) 京町家カルテ委員会

京町家カルテの内容を審査し、適正に運用することを目的に、理事長の諮問機関として、学識者及び実務者で構成する京町家カルテ委員会を開催した。

- ・開催状況 毎月 1 回（年間に計 12 回）開催

（参考）京町家カルテ委員会 委員名簿（平成 26 年 3 月末現在）

氏名	所属等	
大場 修	京都府立大学 生命環境学部 環境デザイン学科教授	文化庁文化財保護審議会文化財分科会専門委員、京都市都心部小学校跡地活用審議会委員 他
栗山 裕子	WIN 建築設計事務所	京都府建築士会監事、(公財)京都市景観・まちづくりセンター評議員、NPO 法人古材文化の会副会長、京町家まちづくりファンド委員 他

イ 文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業

文化庁の補助事業（文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業）を活用し、京町家を守る所有者・居住者を支え、京町家の保全・再生をサポートすることを目的に、景観重要建造物に値する京町家に対し、往訪事業を行った。調査の了解が得られた京町家には、文化的な価値を明らかにするための調査を実施し、報告書を作成することにより、景観重要建造物や国有有形文化財への登録を支援し、京町家の保全・再生をサポートする。

平成 25 年度は、京都市関係各課（景観政策課、文化財保護課、建築指導課）と毎月担当者会議を開催し情報共有を図るとともに、平成 24 年度までに往訪をした案件に引き続き支援を行った。

- ・景観重要建造物・歴史的風致形成建造物への指定提案 2 件を調整中（平成 26 年 3 月末現在）
- ・建物調査報告書 7 件作成

5 公共人材育成に関する教育及び研修

人材育成関連事業

(1) インターンシップ受入れ

まちづくりコーディネーターの能力向上及び公共的感性を持った人材を育成するため、当センターを実務経験の場として提供し、連携大学からインターンシップ受入れを実施した。

大学	学部	人数	受入期間
立命館大学	理工学部研究科 研究員	1	平成25年7月2日～12月6日
京都府立大学	生命環境学部	1	平成25年8月21日～9月26日
京都府立大学	公共政策学部	1	平成25年8月22日～9月25日

(2) 景観エリアマネジメント講座

まちづくりに関わる様々な分野の専門家を対象に、京都の景観に対する幅広い知識と高い見識を持つ人材を養成することを目的として、その知識を得るための基礎講座、フィールドワークを中心に地域での活動に必要なスキルを得るための実践講座を特定非営利活動法人京都景観フォーラムとの共催事業として開催した。

・基礎講座（全8回）

回	開催日	内容	講師	出席者
1	H25. 7. 20	基礎理論	堀繁氏（東京大学大学院教授）	28
2	H25. 8. 17	海外事例と伝統文化	宗田好史氏（京都府立大学教授） 笹岡隆甫氏（華道「未生流笹岡」家元）	22
3	H25. 9. 21	京都のまちの形成と景観史	高橋康夫氏（花園大学教授） 中川理氏（京都工芸繊維大学大学院教授）	19
4	H25. 10. 19	土木と景観デザイン	山田圭二郎氏（京都大学大学院・特定准教授） 篠原修氏（東京大学名誉教授）	15
5	H25. 11. 16	京の生活文化	矢ヶ崎善太郎氏（京都工芸繊維大学大学院准教授） 谷晃氏（野村美術館館長）	18
6	H25. 12. 21	建築とランドスケープ	江川直樹氏（関西大学教授） 佐々木葉二氏（京都造形芸術大学教授）	17
7	H26. 1. 18	景観政策と法律	飯田昭氏（弁護士） 石田光廣氏（司法書士）	16
8	H26. 2. 15	景観まちづくり・終了式	高田光雄氏（京都大学大学院教授）	17

・実践講座（全5回）

回	開催日	内容	講師	出席者
1	H25. 7. 21	「景観を理解する」	堀繁氏（東京大学大学院教授）	14
2	H25. 8. 24	「色彩と景観調和について」	渡辺安人氏（アーキタイプ工房）	14
3	H25. 9. 28	「対話型ファシリテーター講座」	中田豊一氏（ソムニード／参加型開発研究所）	14
	H25. 10. 4	「フォローアップ講座」		14
4	H25. 10. 26	「景観まちづくりの現場から～修徳学区のまちづくり」	門内輝行氏（京都大学大学院教授）	14
5	H25. 11. 23	ワークショップ（実践フィールドにおける課題と対策について）	—	14

(3)文化財マネージャー育成講座

京都市、特定非営利活動法人古材文化の会とともに「京都市文化財マネージャー育成実行委員会」を構成し、同委員会の主催により、歴史的建造物の調査・保存・活用やまちづくりの実践に参加していただく文化財マネージャー（建造物）を育成することを目的とする「京都市文化財マネージャー育成講座（建造物）」、及び京都市文化財マネージャー（建造物）のスキルアップを目的とする「京都市文化財マネージャー上級講座」を開催している。平成25年度は、第5期育成講座（平成25年1月～7月、修了者31名）、第1期上級講座（平成24年9月～平成25年8月、修了者4名）を修了し、第6期育成講座（平成26年1月～7月、受講者36名）、第2期上級講座（平成25年9月～平成26年8月、受講者8名）を開始している。

・第5期 京都市文化財マネージャー育成講座（建造物）

（全14回 平成25年度：第7～14回）

回	開催日	内 容
7	H25. 4. 13	寺社建築 菅澤茂氏(文化財建造物修理主任技術者) 歴史的建造物の技法 寺本光男氏(瓦葺職)、浅原雄三氏(左官職) 歴史的建造物の調査 中川等氏(大阪産業大学)
8	H25. 4. 27	演習2 登録文化財調査 石川祐一氏・清水一徳氏(京都市)、中川等氏(大阪産業大学) 桐浴邦夫氏(京都建築専門学校)
9	H25. 5. 11	歴史的建造物と耐震補強 西川英佑氏(文化庁) 歴史的建造物の再生設計／構造設計 井手晃二氏・奥田辰雄氏(構造設計家)
10	H25. 5. 25	歴史的建造物と防災対策 益田兼房氏(国際記念物遺跡会議文化遺産防災国際学術委員会) 歴史的建造物の再生設計／意匠設計 木下龍一氏・笠原啓史氏(建築家) 演習2の中間報告及び講評
11	H25. 6. 8	演習3 保存・活用相談 古材文化の会の建築家と構造設計家
12	H25. 6. 22	建築基準法・景観法 伊藤真嗣氏・岡田圭司氏(京都市) 指物の技法 大谷普賢氏(伝統工芸士) 演習3の講評 講座修了レポート中間報告
13	H25. 7. 6	歴史的環境の整備 山崎正史氏(立命館大学) 保存・活用とまちづくり／上賀茂 永松尚志(建築家) 保存・活用とまちづくり／丹波 才本謙二氏(建築家) 講座修了レポート中間発表会
14	H25. 7. 27	講座修了レポート発表会

・第6期 京都市文化財マネージャー育成講座（建造物）

（全14回 平成25年度：第1～6回）

回	開催日	内 容
1	H26. 1. 18	開講式・オリエンテーション 保存・活用概論 永井規男氏(古材文化の会) 寺田敏紀氏(京都市景観・まちづくりセンター)
2	H26. 2. 1	住宅建築 矢ヶ崎善太郎氏(京都工芸繊維大学) 文化財保護法 武内正和氏(文化庁) 庭園の様式 仲隆裕氏(京都造形芸術大学)
3	H26. 2. 15	循環型社会と保存・活用 浅岡美恵氏(弁護士) 近代洋風建築 石田潤一郎氏(京都工芸繊維大学)
4	H26. 3. 1	民家建築 中川等氏(大阪産業大学) 文化財建造物の保存・活用 杉本歌子氏(奈良屋記念杉本家保存会) 京都市登録有形文化財・秦家住宅、重要文化財・杉本家住宅の見学
5	H26. 3. 15	演習1 指定文化財修理の現場見学／仁和寺観音堂（京都府文化財保護課）
6	H26. 3. 29	京都の文化財 石川祐一氏(京都市) 保存・活用のマネジメント／再生設計 藤岡龍介氏(建築家) 保存・活用のマネジメント／活用計画 宗田好史氏(京都府立大学)

・第1期 京都市文化財マネージャー上級講座(建造物)実践講座
(全15回 平成25年度：第5～15回)

回	開催日	内 容
5	H25. 4. 13	課題中間報告
6	H25. 4. 27	評価・判定コース 育成講座演習2の現地指導に参加
7	H25. 5. 11	課題中間報告
8	H25. 5. 25	課題中間報告
9	H25. 6. 8	保存・活用コース 育成講座演習3の現地指導に参加
10	H25. 6. 22	課題中間報告
11	H25. 7. 6	課題中間報告
12	H25. 7. 20	報告書と発表会用レジメの提出及び概略説明
13	H25. 8. 10	報告書と発表会用レジメの仮返却
14	H25. 8. 20	報告書と発表会用レジメの本提出
15	H25. 8. 25	発表会及び修了式

・第2期 京都市文化財マネージャー上級講座 基礎講座
(全8回 平成25年度：第1～8回)

回	開催日	内 容
1	H25. 9. 15	木材の種類と流通史／講義、木材流通史・樹種銘木／見学と意見交換 光谷拓実氏(年輪年代学研究所)、吉村栄二氏(松文商店)
2	H25. 9. 29	年輪年代法と文化財／講義、年輪年代法と木材試料の取り扱い／演習 光谷拓実氏(年輪年代学研究所)
3	H25. 10. 6	姉小路のまちづくり／講義、姉小路のまちなみ／見学と意見交換 谷口親平氏(姉小路境界を考える会)
4	H25. 10. 20	近代洋風建築の特徴と価値／講義、見学、意見交換 石田潤一郎氏(京都工芸繊維大学)、
5	H25. 10. 27	近代和風建築の特徴と価値／講義、近代和風建築／見学と意見交換 日向進氏(京都美術工芸大学)
6	H25. 11. 10	先斗町のまちづくり／講義、先斗町のまちなみ／見学と意見交換 神戸啓氏(先斗町まちづくり協議会)
7	H25. 11. 17	古文書の基礎知識と取り扱い／講義、古文書の解読と取り扱い／演習 秋元せき氏(京都市歴史資料館)
8	H25. 12. 1	行政資料の基礎知識と取り扱い／講義、行政資料の解読と取り扱い／演習 渡邊佳子氏(元京都府総合資料館職員、日本アーカイブズ学会委員) 平塚泉氏(土地境界鑑定委員)

・第2期 京都市文化財マネージャー上級講座(建造物)実践講座
(全15回 平成25年度：第1～4回)

回	開催日	内 容
1	H25. 12. 8	実践課題の進め方 歴史的建造物の調査方法 歴史的建造物の評価と保存(文化財) 歴史的建造物の評価と活用(都市計画) 課題テーマの意見交換
2	H26. 2. 1	調査対象の相談
3	H26. 2. 15	調査対象の決定・発表
4	H26. 3. 29	課題中間報告

6 景観整備機構に関わる関連業務

文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業（再掲）

景観法に基づく景観整備機構として、景観重要建造物候補に値すると判断した京町家に対し、往訪事業を実施するほか、京町家なんでも相談及び京町家まちづくりファンドにおいて、景観重要建造物への指定を推進するため、京都市関係各課（景観政策課、文化財保護課、建築指導課）と毎月担当者会議を開催し情報共有を図るとともに、平成24年度までに往訪をした案件に引き続き支援を行った。

- ・ 景観重要建造物・歴史的風致形成建造物への指定提案2件を調整中（平成26年3月末現在）
- ・ 建物調査報告書 7件作成

7 京都市景観・まちづくりセンターの管理運営事業

指定管理者として京都市景観・まちづくりセンターの管理運営を行った。

【指定管理期間：平成25年度～28年度】

(1) 管理施設の運営

- ・ 1階 京のまちかど展示コーナー
京都のまちづくりに関する情報提供を行う展示施設を運営した。
- ・ 図書コーナー
平成26年3月末所蔵資料集 17,673点（平成24年度末 17,060点）
（内 訳）一般書籍 13,507点（平成24年度末 13,063点）
郷土資料 830点（平成24年度末 751点）
行政資料 1,464点（平成24年度末 1,421点）
視聴覚資料 531点（平成24年度末 538点）
雑誌 598点（平成24年度末 726点）
地図・絵本等 743点（平成24年度末 561点）
（利用状況）利用者数 20,233人（平成24年度実績 21,096人）
利用者カード新規発行数 143枚（平成24年度実績 183枚）
利用者カード述べ発行数 2,257枚（平成24年度実績 2,114枚）
図書等貸出数 2,215点（平成24年度実績 2,500点）
- ・ まちづくり交流サロン
広く一般に開放され、打ち合わせ等ができるサロンを運営した。
- ・ まちづくり工房
コピー機、印刷機、紙折機、製本機等を設置したスペースを運営した。
- ・ ワークショップルーム
景観・まちづくり大学をはじめとする、センターの主催、共催事業等に活用した。

(2) 施設管理に伴う情報発信

ホームページ等の電子媒体を活用し、センターの活動及び情報等を発信した。

- ・ ホームページアクセス件数 222,337件（平成24年度実績 186,648件）
- ・ メールマガジンの配信 26回（平成24年度実績 18回）
- ・ メールマガジン購読者数 1,421人（平成24年度実績 1,268人）

[公 2]

1 京町家まちづくりファンド事業

京町家の変容や減少を憂慮された東京在住の篤志家からの5千万円の寄附を契機に平成17年9月に設立したファンドを活用し、京町家の外観改修に要する費用の1/2(上限500万円)を助成する事業を実施した(平成25年度までに70件に対して改修助成を実施)。

- ・平成25年度改修助成事業として4件を選定し、うち1件に対して助成金を交付した。
(未交付3件)
- ・平成24年度改修助成事業として6件を選定したうち、未交付となっていた2件について、1件に助成金を交付した。(未交付1件)
- ・平成23年度改修助成事業として11件を選定したうち、未交付となっていた1件について、助成金を交付した。

助成物件

選定年度	名 称	所在地	活用計画
H23	生川邸	中京区	借家
H24	佐野邸	下京区	住居
H25	宮岡邸	上京区	住居

- ・助成金交付 平均額 1,446,667円(最高額 1,770,000円、最低額 1,000,000円)

2 京町家再生プロジェクト事業

第2期京町家再生プロジェクトの一環として、京町家の普及啓発のためのシンポジウムを東京にて開催した。

- ・普及、啓発の取組(平成24年度から継続)

京あるき in 東京 2014において、京町家の保全・再生に関するシンポジウム「智恵の継承 - 京町家の再生を通して -」を実施した。

開催日：平成26年2月7日(金)

会 場：野村コンファレンスプラザ日本橋(東京都中央区)

参加者：180名

パネリスト：西村吉右衛門氏(ちおん舎 舎主)

アラード・チャールズ・ジュニア氏

(ウイントン・キャピタル・アジア《香港》代表取締役社長)

コーディネーター：小島富佐江氏(特定非営利活動法人京町家再生研究会理事長)

また、第2期京町家再生プロジェクトのうち、特定非営利活動法人京町家再生研究会が実施している以下の事業について、ワールド・モニュメント財団への中間報告及び事務手続を行った。

- ・風雷房(木田安彦美術館)の修復記録、図面集の作成(平成26年5月末完成予定)
- ・ブックレット(京町家暮らしの作法や知恵などを紹介)の作成(平成26年5月末完成予定)

[法人運営]

1 管理事務

理事会・評議員会の運営、財産の管理、経理事務等

2 賛助会員管理事務

(1) センター賛助会員管理等の事務

・平成26年3月末現在での会員状況

個人会員 204人 (平成24年度実績 197人)

団体会員 28団体 (平成24年度実績 29団体)

【参考】(年間会費) 個人(1口) 5,000円

団体(1口) 50,000円

(2) 地域ホームページ作成支援

団体賛助会員かつインターネットを活用した広報活動を目指す地域に対して、ホームページの立ち上げと管理(サーバーの提供)を支援した。なお、平成25年度をもって、区役所等において地域組織の運営を支援する枠組みが充実してきたこともあり支援を終了する。

・支援地域 [(左京区) 松ヶ崎学区 (東山区) 六原学区 (下京区) 有隣学区、
修徳学区 (西京区) 桂坂学区 (その他) 京都市建築協定連絡協議会]

3 団体ネットワーク事務

センターの運営上関係の深い団体との交流事務

京都商工会議所、全国公益法人協会等に入会し、相互に情報交換等を行った。

<組織図> (平成26年3月末現在)

